

平成3年度 決算

61億円の使いみち

町民1人当たりでは町税を10万4906円使ったことになり、

道路や下水道の整備、福祉施設の充実など町が各種の事業を行うためには、たくさんのお金が必要です。そのお金は、町民の皆さんからいただいた税金や国県からもらったお金（これも税金です）あるいは借金（町債）などでまかっています。

町はあらかじめ、お金がいくら入ってきて、それを何に使うのかの計画を、年度初めに立てます（当初予算）。必要に応じて補正予算を組みま

す。平成3年度は53億3000万円です。補正を経て最終的に61億2854万円になりました。

歳入歳出とも低い伸び

決算とは、こうした予算をどのように使ったかを表したものです。平成3年度に町に入ってきたお金（歳入といいますが）は61億9518万7653円、町が使ったお金（歳出といいますが）は60億5530万5390円でした。前年度

平成3年度の町の一般会計の決算がまとまり、昨年の12月議会で承認されました。決算は町の家計簿といえるもので、平成3年4月1日から平成4年3月31日まで、町にお金がいくら入ってきて、何にどう使ったかをまとめたものです。決算額は歳入61億9518万円、歳出60億5530万円で、1億3988万円を平成4年度に繰り越しました。

暮らしと暮らしに 61億円の歳入

に比べると、歳入は5542万円（0.9%）、歳出は1億462万円（1.8%）と、低い伸びとなりました。歳入と歳出の差額1億3988万円は次年度、つまり平成4年度に繰り越されました。

自主財源

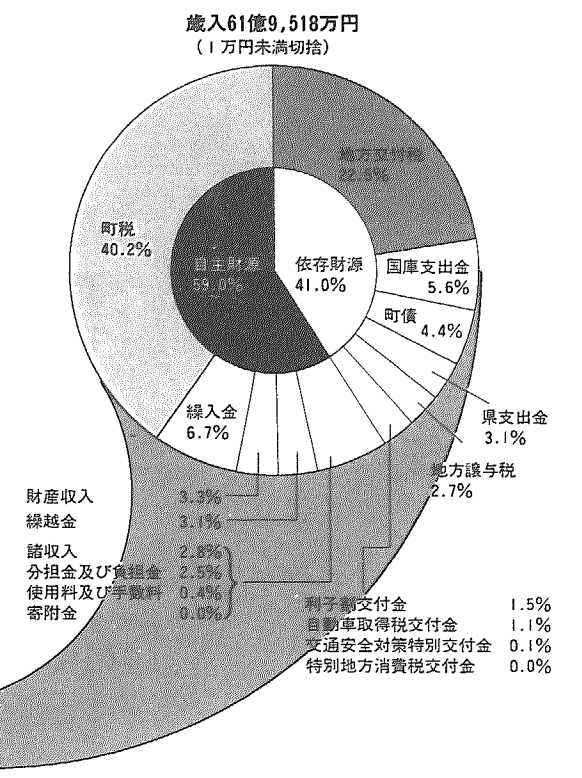
36億5476万円

- ◆町税24億8732万円（前年度より+1億8277万円、+7.9%）町の最大の収入源。町民税12億3542万円、固定資産税10億9770万円など。
- ◆繰入金4億1545万円（+4735万円、+12.9%）基金を崩して一般会計に入れるもの。教育施設整備基金から2億2000万円。財政調整基金から1億6000万円、水田農業確立対策基金から1145万円など。
- ◆財産収入2億518万円（+1億1671万円、+131.9%）基金預金利子などの増加により増収。
- ◆繰越金1億8909万円（-3354万円、-15.1%）前年度繰越金。
- ◆諸収入1億7353万円（-1億2788万円、-42.4%）黒埼荘移転補償費1億円減などによる。
- ◆分担金及び負担金1億5616万円（-678万円、-4.2%）ほとんどが保育料。
- ◆使用料及び手数料2642万円（+884万円、+50.3%）戸籍住民手数料や黒埼荘使用料など。
- ◆寄付金161万円（-2090万円、-92.8%）

依存財源

25億4042万円

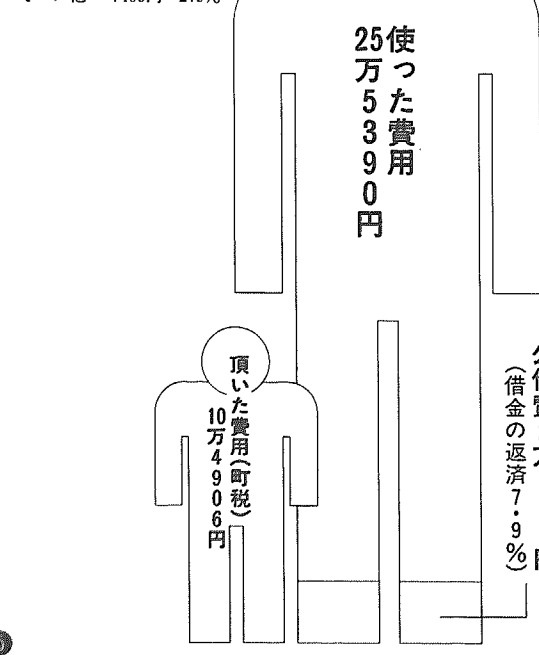
- ◆地方交付税13億9209万円（+8416万円、+6.4%）国が国税を一定の割合で地方に配分するもの。
- ◆国庫支出金3億4789万円（+2004万円、+6.1%）使い道が決まっている国からの補助金。農村総合整備モデル事業に5836万円など。
- ◆町債2億7100万円（-2億8320万円、-51.1%）町の借金。町道整備事業に1億2460万円、学校給食施設整備事業に8960万円など。
- ◆県支出金1億9119万円（+3240万円、+20.4%）児童措置費負担金2529万円、観光地づくり事業補助金1140万円など。
- ◆地方譲与税1億6829万円（+1616万円、+10.6%）
- ◆利子割交付金9378万円（+1351万円、+16.8%）
- ◆自動車取得税交付金6831万円（+370万円、+5.7%）
- ◆交通安全対策特別交付金754万円（+176万円、+30.5%）
- ◆特別地方消費税交付金330万円（+330万円、皆増）



町民1人当たりでは

(人口は平成4年3月末日の23710人)

総務費	66656円	26.1%
教育費	41378円	16.2%
土木費	36520円	14.3%
諸支出金	24517円	9.6%
農林水産費	21963円	8.6%
衛生費	16089円	6.3%
民生費	13280円	5.2%
商工費	7406円	2.9%
その他	7406円	2.9%



歳出の内訳

- ◆総務費15億8264万円（前年度より-9560万円、-5.7%）町史編さん費1640万円・交通安全対策費1541万円・徴税費3164万円・戸籍住民基本台帳費1864万円・選挙費538万円・統計調査費107万円・監査委員会費153万円・町職員給料7億521万円・町職員手当など4億2275万円
- ◆教育費9億8051万円（+5562万円、+131.1%）給食センター建設事業費6億8227万・小学校管理費8813万円・中学校管理費3122万円・教育委員会費1979万円・公民館費1783万円・図書館費1038万円・緒立遺跡発掘調査費686万円・社会体育費6044万円・学校給食費2421万円
- ◆土木費8億6491万円（+7612万円、+9.7%）町道の整備4億5216万円・県道の整備（町の負担金）110万円・緒立土地区画整理組合、北部地区土地区画整理組合への助成5312万円・除雪

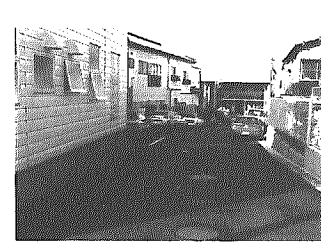
委託料536万円・公共下水道費3007万円・都市排水路事業5515万円・山田地区河川公園整備4921万円・寺地区河川公園整備1382万円・児童遊園の改修工事（8カ所）706万円

◆諸支出金5億8223万円（-9517万円、-14.1%）主に将来に備え基金に積み立てたもの。都市整備基金1億8760万円・地域福祉基金1億2220万円・土地開発基金繰出金9700万円

◆農林水産費5億1791万円（+1億9770万円、+61.7%）町民農園建設事業1795万円・農業委員会費1233万円・農業振興費1億6385万円・水田農業確立対策費1425万円・農村総合整備事業費1億6596万円・農村環境改善センター管理費1171万円・農地費1億2555万円

◆公債費4億7801万円（+1781万円、+3.9%）町の借金（町債）の返済。

- ◆衛生費3億8085万円（+3029万円、+8.6%）新潟地区広域清掃事務組合負担金1億5824万円・ごみ収集委託料等6101万円・防薬剤補助金265万円・予防費2217万円・母子衛生費1272万円・老人保険特別会計への繰出金8567万円
- ◆民生費3億1771万円（-5億7482万円、-64.4%）社会福祉総務費5521万円、敬老事業297万円、老人福祉センター管理費1872万円・国民年金事務費2537万円・養護老人ホーム負担金210万円、ディナーサービスセンター事業1318万円・児童福祉総務費5415万円・児童措置費1億4095万円など
- ◆商工費1億7447万円（-5604万円、-24.3%）大野地区駐車場用地取得事業3076万円・産業育成資金・商工業近代化資金の融資、消費生活の改善など



- ◆議会費9149万円（+1422万円、+18.4%）議員報酬5531万円など
- ◆消防費4428万円（-537万円、-10.8%）常備消防費1178万円（消防本部施設の整備、救助用資器財の整備）・非常備消防費2367万円（消防団の装備の充実）
- ◆災害復旧費3967万円（+3967万円、皆増）台風19号（平成3年9月28日）による風害により、公共施設の一部損壊が生じたため実施。
- ◆労働費56万円（-44万円、-44.0%）失業対策労働者補助金など

